

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-253355

(43)Date of publication of application : 14.09.2000

J1017 U.S. PTO  
09/883238  
06/19/01

(51)Int.Cl. H04N 5/92  
H04H 1/00  
H04N 5/445

(21)Application number : 11-051064

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

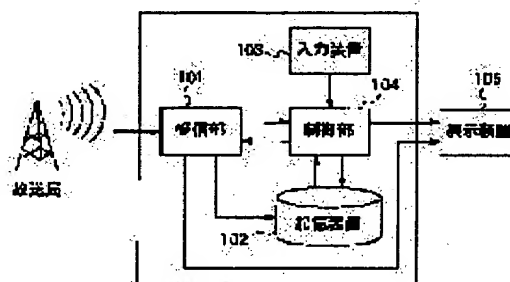
(22)Date of filing : 26.02.1999

(72)Inventor : MORI TAKAHISA

**(54) BROADCAST RECEIVING TERMINAL EQUIPMENT****(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To allow a viewer to selectively watch and listen to required advertising data at need by reading advertising data from a storing device to display on a display device in accordance with an input from an input device.

**SOLUTION:** First, a receiving part 101 receives advertising data transmitted from a broadcasting station by multiplexing to a normal program broadcasting or suspending the normal program broadcasting at a specific time. Next, a control means 104 discriminates data received by the part 101 to be advertising data and stores advertising data in a storing device 102. When power is supplied to the broadcasting receiving terminal equipment, the part 101 receives program data and when the part 104 does not discriminate program data to be advertising data, the part 104 displays it on the display device 105 as it is. When an advertisement display button of the input device 103 is pressed, the part 104 displays a list of advertising data stored in the device 102 on the display device 105, and advertising data is selected by using an upper arrow button or lower arrow button.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-253355

(P2000-253355A)

(43) 公開日 平成12年9月14日 (2000.9.14)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコ-ト*(参考)
H 0 4 N 5/92		H 0 4 N 5/92	H 5 C 0 2 5
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00	B 5 C 0 5 3
H 0 4 N 5/445		H 0 4 N 5/445	Z

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-51064

(22) 出願日 平成11年2月26日 (1999.2.26)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 森 卓久

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 100081813

弁理士 早瀬 憲一

Fターム(参考) 5C025 BA14 BA22 CA03 CA09 CB10  
DA01

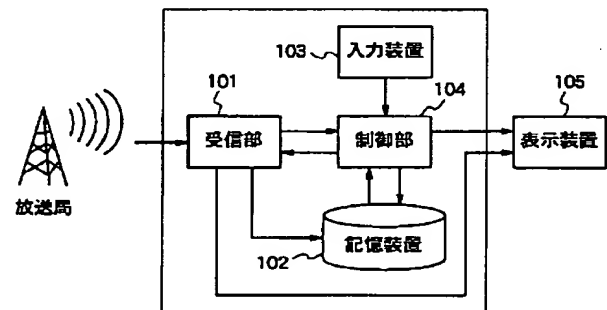
5C053 FA14 FA20 FA29 GB38 KA04  
KA05 LA06

(54) 【発明の名称】 放送受信端末装置

(57) 【要約】

【課題】 視聴者が所望の時に、必要な広告データを選択して視聴することが可能な放送受信端末装置を提供すること。

【解決手段】 受信部101により、放送局から送信される広告データを受信して、記憶装置102に記憶し、入力装置103から「広告表示」の指示があったとき、記憶装置102から広告データを読み出し、視聴者が選択した広告データを表示装置105に表示する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デジタル放送による番組データを受信して表示する放送受信端末装置において、放送局から送信される広告データを受信する受信部と、受信した広告データを記憶する記憶装置と、外部から任意の広告データを選択する入力装置と、上記入力装置からの入力に応じて、上記記憶装置から広告データを読み出して、表示装置に表示する制御部とを設けたことを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の放送受信端末装置において、

該放送受信端末装置ごとに予め設定される、該放送受信端末装置の利用者を特定する端末属性値を記憶する端末属性記憶部をさらに備え、

上記制御部は、受信した広告データの中から映像および音声情報と、視聴対象者を制限するための制限情報とを分離して読み出し、記憶された端末属性値と合致する制限情報をもつ広告データのみを記憶装置に記憶するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、上記端末属性記憶部に記憶されている端末属性値に関わらず、受信した広告データをすべて記憶装置に記憶し、入力装置からの入力に応じて、記憶されている広告データの中から、映像および音声情報と上記制限情報とを分離して読み出し、上記端末属性値と合致する制限情報をもつ広告データのみを上記記憶装置から読み出し、表示装置に表示するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 4】 請求項 2 または 3 に記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、上記制限情報に含まれる、広告データの有効期限を示す有効期限情報を読み取り、有効期限の過ぎた広告データを上記記憶装置から削除するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 5】 請求項 2 ないし 4 のいずれかに記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、受信部が放送局から送信される、広告データの削除を指示する削除指示データを受信したとき、指示された広告データを記憶装置から削除するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 6】 請求項 2 ないし 5 のいずれかに記載の放送受信端末装置において、

上記端末属性記憶部は、着脱可能とし、複数の端末属性記憶部において、該放送受信端末装置の複数の利用者を特定する端末属性値を別個に記憶するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、表示可能な広告データの一覧を上記表示

装置に表示し、上記入力装置によって一覧の中から選択された広告データを上記記憶装置から読み出し、該表示装置に表示するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 8】 請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、予め定められた順序でのみ、上記記憶装置から広告データを読み出し、上記表示装置に表示するものであることを特徴とする放送受信端末装置。

【請求項 9】 請求項 7 または 8 に記載の放送受信端末装置において、

上記制御部は、上記入力装置により、上記記憶装置に記憶された広告データの中の一部の広告データの削除が指示されたとき、指定された広告データを上記表示装置に表示されないようにするものであることを特徴とする放送受信端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、地上波放送やCATV、衛星放送などのデジタル放送を受信する放送受信端末装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】現在、アナログ信号を用いた地上波放送、特に民間放送局による放送では、番組の前後や途中に、番組のスポンサーの広告（CM）を挿入することの対価として、スポンサーが番組制作や放送システム維持のための費用を放送局に支払っている。これによって、視聴者は通常、無料で番組を視聴することができる。

【0003】このような広告は、広い意味で商品情報を提供するものであるが、対象とする視聴者は限定されていることが多い。ところが、現在の放送システムでは、ある番組を視聴している全視聴者が同時に同一の広告しか見ることができないため、その広告提供者である番組のスポンサーにとっては、広告の効率が良いとはいえない。また、視聴者にとっても、全く興味のない商品情報を半ば強制的に視聴させられている場合がある。

【0004】ところで、近年、映像や音声のデジタル符号化技術の進展により、衛星放送をはじめとして、地上波やCATVにおいても、デジタル信号を用いた放送が始まりつつある。該デジタル信号を用いた放送では、複数の番組を多重化し、ひとつのチャンネルを用いて送受信したり、番組を構成する映像・音声データに付加的な情報を添付することにより、番組の表示内容を対話的・選択的に変更することが可能である。

【0005】そこで、上述のアナログ信号を用いた放送における広告効率の問題を解決するために、特開平10-79711号公報に記載の商業情報選択再生方法および放送システムが提案されている。これは、すべての視聴者に同時に同一の広告を視聴させるのではなく、例えば、視聴者の家族構成、年齢、性別などの情報

を放送受信機に記憶し、この情報を元にして、視聴者ごとに最も効果的なCMを選択して表示することにより、視聴者の嗜好にあわせて視聴者ごとに異なった広告を提供することができるようにし、番組スポンサーが広告効果の向上を期待できるようにしている。また、例えば、視聴者の居住地域の情報を放送受信機に記憶しておけば、ある特定の市町村に住む人だけを対象とした、きめ細かい広告を放送することも可能になる。

#### 【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、視聴者は常に番組の中で必要のない商品情報を強制的に視聴させられているとは限らず、例えば、安売り情報や新製品情報などを、積極的に得たいと考える場合もある。そのような場合に、上記特開平10-79711号公報に記載のコマーシャル情報選択再生方法および放送システムでは、広告を視聴者に見せるスケジュールを決定するのは放送局であるため、視聴者が所望のときに必要な広告を選択して視聴することはできなかった。

【0007】このような商品情報に対する要求を満たすには、一般に新聞や雑誌の広告、情報専門誌、特に地域を細かく限定する場合には新聞の折り込み広告など、紙を媒体にした広告が主に用いられている。しかし、紙の媒体は情報伝達速度が遅く、最新の情報を得にくい。

【0008】本発明は、以上のような問題点に鑑みてなされたもので、視聴者が所望のときに、必要な広告データを選択して視聴することが可能な放送受信端末装置を提供することを目的とする。

#### 【0009】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、本発明（請求項1）にかかる放送受信端末装置は、ディジタル放送による番組データを受信して表示する放送受信端末装置において、放送局から送信される広告データを受信する受信部と、受信した広告データを記憶する記憶装置と、外部から任意の広告データを選択する入力装置と、上記入力装置からの入力に応じて、上記記憶装置から広告データを読み出して、表示装置に表示する制御部とを設けたものである。

【0010】また、本発明（請求項2）にかかる放送受信端末装置は、請求項1に記載の放送受信端末装置において、該放送受信端末装置ごとに予め設定される、該放送受信端末装置の使用者を特定する端末属性値を記憶する端末属性記憶部をさらに備え、上記制御部は、受信した広告データの中から映像および音声情報と、視聴対象者を制限するための制限情報とを分離して読み出し、記憶された端末属性値と合致する制限情報をもつ広告データのみを記憶装置に記憶するものであるものである。

【0011】また、本発明（請求項3）にかかる放送受信端末装置は、請求項2に記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、上記端末属性記憶部に記憶されている端末属性値に関わらず、受信した広告データをすべ

て記憶装置に記憶し、入力装置からの入力に応じて、記憶されている広告データの中から、映像および音声情報と上記制限情報とを分離して読み出し、上記端末属性値と合致する制限情報をもつ広告データのみを上記記憶装置から読み出し、表示装置に表示するものであるものである。

【0012】また、本発明（請求項4）にかかる放送受信端末装置は、請求項2または3に記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、上記制限情報に含まれる、広告データの有効期限を示す有効期限情報を読み取り、有効期限の過ぎた広告データを上記記憶装置から削除するものであるものである。

【0013】また、本発明（請求項5）にかかる放送受信端末装置は、請求項2ないし4のいずれかに記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、受信部が放送局から送信される、広告データの削除を指示する削除指示データを受信したとき、指示された広告データを記憶装置から削除するものであるものである。

【0014】また、本発明（請求項6）にかかる放送受信端末装置は、請求項2ないし5のいずれかに記載の放送受信端末装置において、上記端末属性記憶部は、着脱可能とし、複数の端末属性記憶部において、該放送受信端末装置の複数の使用者を特定する端末属性値を別個に記憶するものであるものである。

【0015】また、本発明（請求項7）にかかる放送受信端末装置は、請求項1ないし6のいずれかに記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、表示可能な広告データの一覧を上記表示装置に表示し、上記入力装置によって一覧の中から選択された広告データを上記記憶装置から読み出し、該表示装置に表示するものであるものである。

【0016】また、本発明（請求項8）にかかる放送受信端末装置は、請求項1ないし6のいずれかに記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、予め定められた順序でのみ、上記記憶装置から広告データを読み出し、上記表示装置に表示するものであるものである。

【0017】また、本発明（請求項9）にかかる放送受信端末装置は、請求項7または8に記載の放送受信端末装置において、上記制御部は、上記入力装置により、上記記憶装置に記憶された広告データの中の一部の広告データの削除が指示されたとき、指定された広告データを上記表示装置に表示されないようにするものであるものである。

#### 【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

（実施の形態1）図1は、本発明の実施の形態1による放送受信端末装置の例を示す構成図である。図において、101は受信部であり、放送局から送信されてくる広告データの映像情報および音声情報を受信する。10

2は記憶装置であり、受信部101で受信した広告データを記憶する。103はリモコン装置などの入力装置である。104は制御部であり、番組データと広告データとを判別し、広告データを記憶装置102に記憶させ、入力装置103からの入力に従って表示する広告データを決定し、その広告データを表示させる。105は表示装置であり、番組の映像や広告データの一覧を表示する。

【0019】図2は、図1における入力装置103の例を示す図である。図に示すように、広告表示ボタン201、上矢印ボタン202、下矢印ボタン203決定ボタン204、広告中断ボタン205、及び広告削除ボタン206を設けたリモコン装置である。なお、入力装置103として、リモコンの代わりに該放送受信端末装置自体に図2に示した各ボタンと同等の操作ボタンを設けてもよい。

【0020】図3は、広告データ一覧の表示例を示す図である。図において、Aはカーソルを表しており、図2の上矢印ボタン202あるいは下矢印ボタン203を押すことによって移動する。ここで、広告データは、通常の番組放送に多重化して送信されたり、早朝などの特定の時間に、通常の番組放送を休止して送信される。また、デジタル放送の番組多重化には、例えばISO/IECのMPEG2システム規格などが用いられる。該MPEG2システム規格では、各番組に含まれる各メディア（映像、音声、データ）にそれぞれパケットIDが付けられ、番組とメディアの関係はプログラム・アソシエーション・テーブル（PAT）や、プログラム・マップ・テーブル（PMT）によって対応づけられ、広告データは、映像および音声パケットストリームとして送信される。

【0021】図4は、図1における制御部の動作を示すフローチャート図である。以上のように構成された本実施の形態1による放送受信端末装置の動作について、図1～4により説明する。まず、受信部101は、通常の番組放送に多重化されたり、特定の時間に通常の番組放送を休止して、放送局から送信されてくる広告データを受信する。次いで、制御部104は、受信部101が受信したデータが広告データであることを判別し、該広告データを記憶装置102に記憶させる。

【0022】つぎに、該放送受信端末装置の電源が投入されると（S1）、受信部101は、番組データを受信して、制御部104が該番組データを広告データでないと判別して、そのまま表示装置105に表示させる（S2）。入力装置103からの入力がなければ、このまま通常番組の表示が継続される（S3）。

【0023】次いで、入力装置103の広告表示ボタン201が押されると（S3）、制御部104は記憶装置102に蓄積されている広告データの一覧（図3（a））を表示装置105に表示し（S4）、ボタン入

力待ち状態になる（S5）。すなわち、上矢印ボタン202あるいは下矢印ボタン203を用いて広告データが選択される。

【0024】次いで、入力装置103の上矢印ボタン202あるいは下矢印ボタン203によってカーソルを操作して任意の広告を選択する。より具体的には、入力装置103の下矢印ボタン203が押されると（S6）、現在のカーソル位置は項目「ABC電器ワイドテレビ」にあつて一番下の項目にはないので（S7）、カーソルはひとつ下の項目に移動して（S8）、図3（b）の表示になった後、ボタン入力待ち（S5）に戻る。あるいは、図3（a）の状態、上矢印ボタン202を押すと（S6）、カーソル位置は一番上にあるので（S9）、カーソルは移動せず、ボタン入力待ち（S5）に戻る。また、図3（b）の状態、入力装置103の上矢印ボタン202が押されると（S6）、現在のカーソル位置は、一番上の項目ではないので（S9）、カーソルはひとつ上の項目に移動し（S10）、図3（a）の表示になった後、ボタン入力待ち（S5）に戻る。さらに、図3（c）のように、カーソルが一番下の項目にあるときに、下矢印ボタン203が押されると（S6）、カーソル位置が一番下の項目にあるので（S7）、カーソルは移動せず、ボタン入力待ち（S5）に戻る。

【0025】次いで、任意の広告が選択された後、入力装置103の決定ボタン204が押されると（S6）、該当する広告データの映像および音声情報が表示装置105で再生される（S11）。例えば、図3（b）の状態、決定ボタン204が押されると、「さつきが丘分譲住宅」の広告が再生される。

【0026】次いで、広告再生中に、入力装置103の広告中断ボタン205が押されると（S12）、広告データの再生を中断し、広告一覧表示（S4）に戻る。また、再生されている広告データに、予め再生時間が設定されている場合、この再生時間が過ぎたとき（S13）、広告中断ボタン205が押されなくても、広告再生を終了し、広告一覧表示（S4）に戻る。

【0027】さらに、ボタン入力待ち状態（S5）で、広告削除ボタン206が押されると（S6）、制御部104は、現在カーソルで選択されている広告の項目を広告一覧の中から削除し（S14）、広告一覧表示（S4）に戻る。例えば、図3（b）の状態、広告削除ボタン206が押されると、「さつきが丘分譲住宅」が一覧から削除され、図3（d）のように表示される。なお、該広告の項目を広告一覧から削除するためには、記憶装置102から広告データを削除してもよいし、記憶装置102からは削除せずに、「削除マーク」をつけるなどして、単に一覧表が表示されないようにするだけでもよい。最後に、ボタン入力待ち状態（S5）で、広告表示ボタン201が再度押されると（S6）、広告データ表示を終了し、通常の番組表示（S2）に戻る。

【0028】なお、図3では一画面で表示できる程度の広告数の場合について例示したが、広告数が一画面で表示しきれないほど多いときは、矢印ボタン202、203を用いてスクロール表示させるものであってもよい。

【0029】このように、本実施の形態1によれば、放送局から送信される広告データを受信して、記憶装置に記憶し、入力装置から「広告表示」の指示があったときには、記憶装置に記憶されている広告の一覧を表示装置に表示し、入力装置の矢印ボタンを用いて、この広告一覧から任意の広告を選択して、選択された広告の映像および音声を表示装置で再生するものとしたから、視聴者が所望のときに、所望する広告を視聴することができ、また、指定された広告を一覧に表示しないようにしたから、見終わった広告が何度も一覧に現れる煩わしさを防ぐことができる。

【0030】（実施の形態2）図5は、本発明の実施の形態2による放送受信端末装置の構成を表す構成図である。図において、図1と同一符号は同一または相当部分である。また、506は端末属性記憶部であり、該放送受信端末装置の使用者の居住地域や、家族構成などを予め設定しておく。この情報設定は、使用者が自ら行ってもよいし、視聴契約の際の調査をもとに、放送事業者が行うものとしてもよい。

【0031】したがって、制御部104は、受信部101が受信した広告データの中から映像情報、音声情報、及び制限情報を分離するとともに、該制限情報と、端末属性記憶部506に記憶されている、該放送受信端末装置の使用者の情報を比較し、両者の条件が合致する場合は、この広告データを記憶装置102に記憶する。なお、入力装置103には、上記実施の形態1と同様、図2に示すようなリモコン装置などが用いられる。

【0032】図6は、制限情報を含む広告データの構成例を示す図である。図に示すように、本実施の形態2では、広告データの中に、映像および音声に加えて、その広告の視聴対象者を制限するための情報（例えば居住地域や家族構成などの制限情報）がデータパケットストリームとして送信される。該制限情報、映像情報、及び音声情報には同一のID（識別番号）が付与されている。ここでは、広告データのIDは38462である。該広告データのIDは、広告データ同士を識別するためのものであり、パケットを識別するためのパケットIDとは異なる。

【0033】なお、該制限情報は、音声または映像のパケットストリームの中にプライベートデータとして記述することも可能である。また、映像情報および音声情報のうちのいずれかが欠けていても構わないし、映像情報は動画でも静止画でも構わない。図7は、広告データの中の制限情報および端末属性データの構成例を示す図である。

【0034】図において、（a）は制限情報の例であ

り、IDが38462の広告データの有効期限が1998年9月30日であり、この広告の視聴者を、東京都に居住し、幼児がいる世帯に制限することを表している。同じく、（b）も制限情報の例であり、IDが38539の広告データの有効期限が1998年10月3日であり、この広告の視聴者を未婚者に制限することを表している。また、（c）は、図5の端末属性記憶部506に記憶される情報（端末属性データ）の例であり、該放送受信端末装置の使用者が、東京都新宿区に居住し、既婚で幼児がおり、小学生、中学生、または高校生の子供はいないことを表している。

【0035】図8は、削除指示データの構成例を示す図である。図に示すように、該削除指示データは、図5の記憶装置102に記憶された広告データの一部を、放送局側の指示により削除するためのデータ例である。該削除指示データ自身のIDが38705であり、削除対象となる広告データのIDは38539であることを表している。

【0036】以上のように構成された本発明の実施の形態2による放送受信端末装置における動作について、図2、及び図5～8により説明する。まず、受信部101はIDが38462の広告データを受信し、制御部104は、この中から図7（a）に示す制限情報を分離する。また、制御部104は、該制限情報と、図7（c）に示した、端末属性記憶部506に記憶されている情報（端末属性データ）とを比較する。その結果、「東京都に居住」し、「幼児がいる」という制限情報が合致するので、この広告データを制限情報とともに、記憶装置102に記憶する。

【0037】次いで、受信部101はIDが38539の広告データを受信し、制御部104は、この中から図7（b）に示す制限情報を分離する。また、制御部104は、該制限情報と、図7（c）に示した端末属性データとを比較し、「既婚でない」という制限情報が合致しないので、この広告データは、記憶装置102に記憶せずに破棄する。このようにして、制御部104は、端末属性記憶部506に記憶されている条件と合致する広告データのみを記憶装置102に蓄積する。

【0038】ここで、入力装置103の広告表示ボタン201が押されると、制御部104は記憶装置102に蓄積されている広告データのリストを読み出し、リストの最初にある広告データの映像および音声を表示装置105で再生する。

【0039】次いで、入力装置103の下矢印ボタン203、或いは上矢印ボタン202が押されると、リスト内の次、或いは前の広告データがそれぞれ表示装置105で再生される。したがって、上記実施の形態1と異なり、各広告データの表示順序を視聴者が指定することができないが、逆に、すべての広告データを視聴者の目に触れさせる効果がある。

【0040】また、制御部104は記憶装置102に蓄積されている各広告データの制限情報の中に含まれている有効期限を管理し、有効期限が過ぎた広告データを記憶装置102から削除する。

【0041】さらに、受信部101が図8に示すような広告データの削除を指示する削除指示データを受信したとき、制御部104は、記憶装置102の中にIDが38539の広告データの存在を確認し、存在すれば当該広告データを記憶装置102から削除する。

【0042】以上のように、本発明の実施の形態2によれば、広告の映像情報および音声情報とともに送信される制限情報と、放送受信端末装置ごとに設定された属性値を比較して、広告提供者が意図する視聴者の放送受信端末装置にのみ広告データを蓄積し、さらに、入力装置からの指示により、この広告データを表示装置に表示できるものとしたから、視聴者は、自分の個人情報に合致した、きめ細かい広告データを所望のときに視聴することができる。

【0043】また、予め設定された有効期限を過ぎた広告データや、有効期限内であっても放送局側から指定された広告データを記憶装置から削除するものとしたから、常に最新の情報を視聴者に提供することができる。

【0044】なお、本実施の形態2では、図7(a)、及び(b)に示した広告データの制限情報、同(c)に示した端末属性データ、図8に示した削除指示データなどを文字で表現したが、これらを数値化、あるいは符号化して表現してもかまわない。

【0045】また、本実施の形態2では、受信した広告データの中の制限情報と、記憶されている端末属性データとを比較し、条件が合致する場合のみ、当該広告データを記憶するものとしたが、記憶されている端末属性データに関係なく、制限情報を含む広告データをすべて記憶し、広告一覧を表示する時点で、各広告データに含まれる制限情報と、該端末属性データとを比較し、条件が合致した広告データだけを表示対象とするものとしても上記同様の効果を得ることができる。

【0046】さらに、端末属性記憶部506を着脱可能とし、視聴者個人ごとの個人情報を記憶した端末属性記憶部を、視聴の都度、装着して使用することにより、さらに、個人単位できめ細かく広告データを選択して視聴させることが可能になる。

【0047】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明（請求項1）にかかる放送受信端末装置は、放送局から送信される広告データを受信して、記憶装置に記憶し、入力装置から「広告表示」の指示があったときに、指定された広告データを表示装置に表示することにより、新聞や雑誌の広告のように視聴者が所望の時に、広告データの中から所望の情報を選択して視聴することができる効果がある。

【0048】また、本発明（請求項2）にかかる放送受信端末装置は、請求項1に記載の放送受信端末装置において、広告の映像および音声情報に付加して送信される制限情報と、放送受信端末装置ごとに設定された属性値を比較して、広告提供者が意図する視聴者の端末装置にのみ広告データを蓄積することにより、視聴者は、自分の個人情報に合致したきめ細かい広告データを視聴することができる効果がある。

【0049】また、本発明（請求項3）にかかる放送受信端末装置は、請求項2に記載の放送受信端末装置において、記憶されている端末属性データに関係なく、制限情報を含む広告データをすべて記憶し、広告一覧を表示する時点で、各広告データに含まれる制限情報と、該端末属性データとを比較し、条件が合致した広告データだけを表示対象とするものとして、視聴者は、自分の個人情報に合致したきめ細かい広告データを視聴することができる効果がある。

【0050】また、本発明（請求項4）にかかる放送受信端末装置は、請求項2または3に記載の放送受信端末装置において、予め設定された有効期限を過ぎた広告データを記憶装置から削除するものとしたから、常に最新の情報を視聴者に提供することができる効果がある。

【0051】また、本発明（請求項5）にかかる放送受信端末装置は、請求項2ないし4のいずれかに記載の放送受信端末装置において、放送局側から指定された広告データを記憶装置から削除するものとしたから、常に最新の情報を視聴者に提供することができる効果がある。

【0052】また、本発明（請求項6）にかかる放送受信端末装置は、請求項2ないし5のいずれかに記載の放送受信端末装置において、放送受信端末装置ごとの属性値を記憶する部分を着脱可能とし、視聴者個人ごとの個人情報を記憶した端末属性記憶部を、都度装着して使用することにより、個人単位の、さらにきめ細かい広告データを視聴させることができる効果がある。

【0053】また、本発明（請求項7）にかかる放送受信端末装置は、請求項1ないし6のいずれかに記載の放送受信端末装置において、入力装置からの指示により、広告データを表示装置に表示できるものとしたから、視聴者は、所望の広告データを所望のときに視聴することができる効果がある。

【0054】また、本発明（請求項8）にかかる放送受信端末装置は、請求項1ないし6のいずれかに記載の放送受信端末装置において、予め定められた順序でのみ、上記記憶装置から広告データを読み出し、上記表示装置に表示するものとしたから、すべての広告データを視聴者の目に触れさせる効果がある。

【0055】また、本発明（請求項9）にかかる放送受信端末装置は、請求項7または8に記載の放送受信端末装置において、入力装置によって削除が指定された広告データを表示対象から除くものとしたから、見終わった

広告が表示されるという煩わしさを防ぐことができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施の形態 1 による放送受信端末装置の例を示す構成図である。

【図 2】 図 1 における入力装置の例を示す図である。

【図 3】 広告データ一覧の表示例を示す図である。

【図 4】 図 1 における制御部の動作を示すフローチャート図である。

【図 5】 本発明の実施の形態 2 による放送受信端末装置の例を示す構成図である。

【図 6】 制限情報を含む広告データの構成例を示す図で

ある。

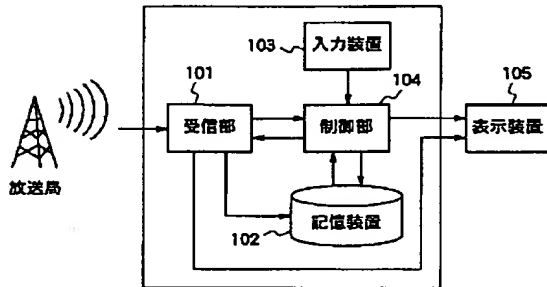
【図 7】 広告データの中の制限情報および端末属性データの構成例を示す図である。

【図 8】 削除指示データの構成例を示す図である。

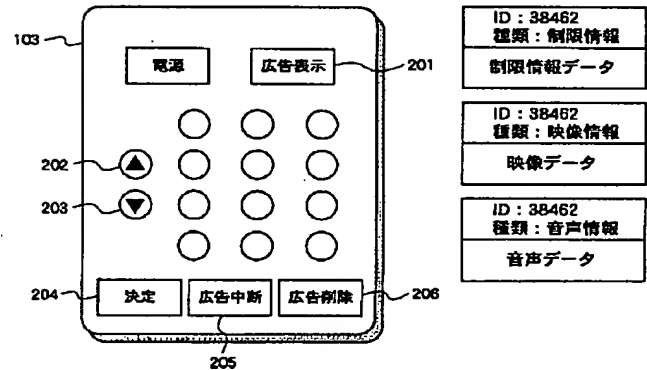
【符号の説明】

- 101 受信部
- 102 記憶装置
- 103 入力装置
- 104 制御部
- 105 表示装置
- 506 端末属性記憶部

【図 1】

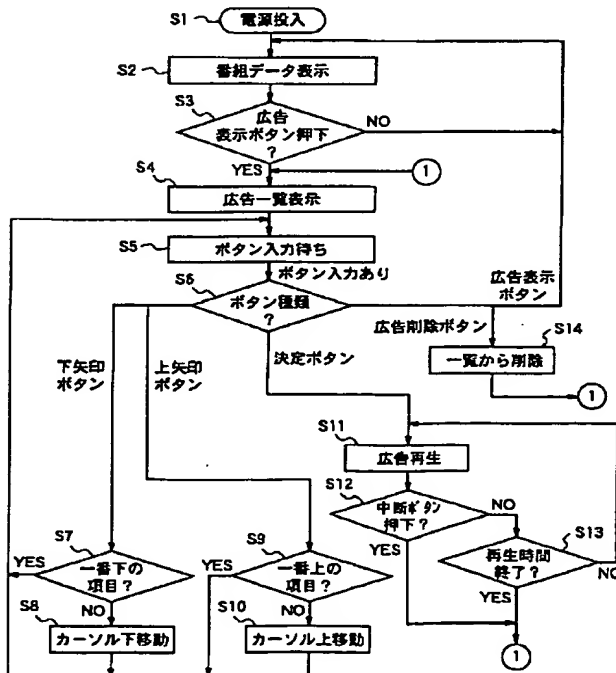


【図 2】

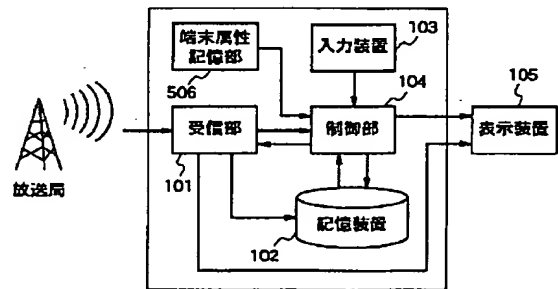


【図 6】

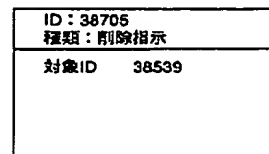
【図 4】



【図 5】

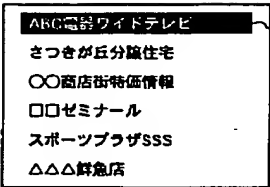
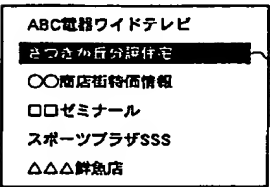
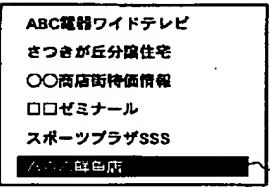
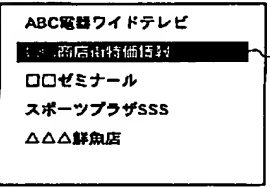


【図 8】

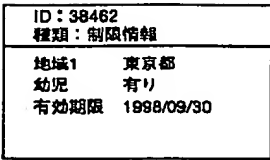
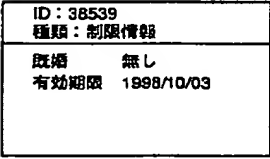
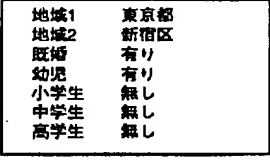




【図 3】

- (a) 
 ABC電器ワイドテレビ  
 さつきが丘分譲住宅  
 ○○商店街特価情報  
 □□ゼミナール  
 スポーツプラザSSS  
 △△△鮮魚店
- (b) 
 ABC電器ワイドテレビ  
 さつきが丘分譲住宅  
 ○○商店街特価情報  
 □□ゼミナール  
 スポーツプラザSSS  
 △△△鮮魚店
- (c) 
 ABC電器ワイドテレビ  
 さつきが丘分譲住宅  
 ○○商店街特価情報  
 □□ゼミナール  
 スポーツプラザSSS  
 △△△鮮魚店
- (d) 
 ABC電器ワイドテレビ  
 ○○商店街特価情報  
 □□ゼミナール  
 スポーツプラザSSS  
 △△△鮮魚店

【図 7】

- (a) 
 ID: 38462  
 種類: 制限情報  
 地域1 東京都  
 幼児 有り  
 有効期限 1998/09/30
- (b) 
 ID: 38539  
 種類: 制限情報  
 既婚 無し  
 有効期限 1998/10/03
- (c) 
 地域1 東京都  
 地域2 新宿区  
 既婚 有り  
 幼児 有り  
 小学生 無し  
 中学生 無し  
 高校生 無し